

第4回下川町総合計画審議会会議（全体会議） 会議録

日 時 令和3年11月25日（木）

18:30～20:20

場 所 総合福祉センター「ハピネス」

【出席者】

下川町総合計画審議委員

麻生会長、川島副会長、瀬川委員、伊藤委員、山崎委員、高松委員、高橋委員、
金澤委員、及川委員、田中委員、山田委員、三津橋委員、渡邊委員、奥村委員、
野崎委員

下川町

田村課長、亀田主幹、河合主任、大西主事

1 開 会 18時30分

2 会長挨拶

各部会において急ピッチで議論いただいた。各部会から報告いただき、良い形で答申出来るように進めていきたい。

3 案 件

(1) 令和3年度行政評価（令和2年度実施事業等）部会報告について

・福祉・教育部会 部会報告

・快適環境・地域づくり部会 部会報告

委員：公営住宅や町営住宅の件だが、前の方の灯油タンクやテレビアンテナが残っていることで、移住者から喜ばれるということか、それとも撤去して欲しいということか。

委員：例えば、テレビの映りが悪い時にブースターを取り付けるが、購入して付けた後で、役場などにあると言われ、ストーブが無いと思っていたら、入居したら既にストーブがあったと聞いている。余分な費用を掛けてしまう場合があるので、入居する際に、タウンプロモーション推進部とが連携するなどして、調整してい

ば、入居者の負担軽減になるのではないかとということ。

委員：移住者と限定しなくても良いのではないか。

委員：文言修正する。

委員：公区会館の建物や土地の売買について、応募者がいないということは高い確率で想定されるが、応募しやすい条件とは、例えばどういうことか。

委員：金額を少し下げて、買い手が現れるよう応募しやすい条件を提示するということ。

・産業経済部会 部会報告

委員：産業経済部会報告では、育苗施設について、担当課から積立における考え方が変わると聞いているが如何か。

町：町の基金は、それぞれ目的に合わせて積んでいる。国からの指導で基金を設置する場合もあれば、市町村の判断で設ける基金もある。

・全体的な内容確認

委員：下川町行政改革推進委員会の開催は、今年もあるのか。定例で行っているのか。

町：この委員会は、快適環境・地域づくり部会の委員で構成されている。例年は、快適環境・地域づくり部会の行政評価の審議に合わせて開催している。

委員：ぜひ、今年度も開催していただけるとありがたい。

4 その他

町：行政評価結果については、全て町のホームページに掲載するが、広報しとかわ1月号でも掲載する予定である。紙面の都合上、各部会で2事業を選択していただきたい。(各部会で2事業を決定)

町：今後より良い審議会にしていくため、運営方法の改善点や感想などあれば教えていただきたい。

委員：最近は分かりやすい資料になっている。この時期は忙しいので、可能であれば時期を見直していただきたい。

委員：全体会議での勉強会は良かった。

委員：今後人口が減るので、20年後に向けて公共施設の統合や廃止を検討していかなければならない。審議会での議論は重要であり、自分達も責任を持ってやっていかなければならない。また、行政改革推進委員会は重要であり、長期的な視点で、意見集約をお願いしたい。

委員：資料が見やすくなっていると感じた。審議会を通して、町について真剣に考えるようになり、また、審議会に参加しないと分からないこともあるので、考えてい

きたい。

委員：事前に資料をいただけて助かる。自分事として、必要な施設とそうでない施設について考えていきたい。

委員：全体会議があることで、皆さんと意思疎通ができて非常に良かった。審議会で意見を出したことが、まだ担当課では考えられていない状況も見受けられる。そうになると審議会の意義が損なわれる。

委員：細かい部分については、分からない部分もある。進め方については、短期間で多くの公共施設を議論するのが、果たして良いのかという思いもある。人口が減っていく中で、公共施設のあり方は「待ったなし」の状態だと感じた。

委員：公共施設の廃止や統合は大きな課題だと感じる。公区会館について、部会で審議したが、全部の位置を把握出来なく、その建物が無くなって良いのかという判断が出来なかった。実際、事前に空いている時間を活用して、その施設の歴史を知ることが出来ればと感じた。今後、建物の統合については、部会を越えて審議する場面もあり、施設を把握するための地図があれば、もっと入り込んだ意見が出来るのではないかと感じた。

委員：資料が見やすくなった。施設の数が多いので、地図に落とし込むことには賛成である。審議会の日程が、他の審議会と重なることが無いように日程調整していただきたい。

委員：審議会に携わっているので、ある程度は知っているつもりだが、町民の方は、知らないことが多いと思う。例えば、建物を除却した情報などは、広報でお知らせしても良いかもと思った。

委員：限られた時間で審議しているため、難しい言葉や知らない場所は、事前に町に確認するとともに、町の話題を他の委員と共有するようにしている。

委員：初めて参加した。説明を聞いて理解出来た部分や疑問に思った部分もあった。他の委員の方の意見を聞く機会があり、貴重な時間だった。

委員：初めて参加した。想像していたイメージと違い、公共施設の更新の議論では、データが無い中では、是非が判断出来なかった。過去との費用比較が出来る資料が必要だと思う。地図を活用するのは良いと感じる。人口が減っていく一方で、老朽化により施設のコストが増えている。施設のサービスはどこまで必要なのか、高いコストをかけてサービスを提供しなくても良いのではないかなど、考えるきっかけになった。町民が知るという意味では、広報への掲載は大事なことだと感じる。

委員：部会審議では、各担当から簡素化した説明を受け、審議の時間を確保出来た。各教育委員会から当日資料をいただいたが、事前にいただきたい。

委員：日程の関係で、スケジュール案を作成していただきたい。前年度決算が春に終わ

り、夏に前半の行政評価、秋に後半の行政評価をすれば、12月末までの予算作成に余裕を持って日程調整できるのではないかと思う。まとめについても時間があれば、もっと部会で深められたと思う。また、新しい委員を募集する際にも、どんな仕事で、このことが次の予算に反映されているということを説明していくと、より一層分かりやすいので検討いただきたい。各課の担当者から同じ発言が見受けられる。それでは審議会の意味をなさないので、各課の進捗状況が見えれば、それを踏まえ次年度に活かせると思う。中間報告を検討いただきたい。

委員：1か月前くらいから日程調整していただきたい。ここ数年、席の配置を部会ごとにしていただき、議論しやすく、会議自体をより良くしていただいている。答申したものが、どう繋がったのかなど、反応が確認できるような機会があれば、今後良い形に変わっていくと思う。

委員：全体的な財政を考えると、どこかを削らないといけないと思う。広報で町民に理解してもらわなければならないと思います。地図があれば、何か新しいことを発見出来るのではないかと感じた。

委員：昨年度から参加し、若い人たちの意見を聞いて良かった。昔は、公区内で維持出来ていた会館が、現在は、維持していく人口すらいらない状態である。危機感を持った中での議論は大切だと感じた。

委員：初めて参加した。審議の流れについては、最初に部会で打ち合わせがあって良かった。普段話さない方と、福祉の話をして参考になり、勉強にもなった。しっかり審議し、必要なものとそうでないものを区別しなければならない。

町：スケジュールについては、他の業務もあり今年も遅くなったが、来年度からは、なるべく早く開始できるように進めていく。公共施設のマップについては、資料としてお見せできるように考えていく。審議会の意見がどのように反映されているかなどは、前向きに進めていければと思う。